

八幡平市教育委員会会議録

令和元年10月24日（木）

八幡平市教育委員会

令和元年 10 月八幡平市教育委員会定例会会議録

1. 開催日時

令和元年 10 月 24 日（木）午後 3 時 0 0 分から午後 3 時 34 分

2. 場所

八幡平市役所本庁舎 3 階 大会議室

3. 出席者

教 育 長	星 俊 也
委 員	宮 野 朋 士
委 員	高 橋 優 子
委 員	伊 藤 政 行

4. 欠席者

委 員	羽 沢 憲 英
-----	---------

5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	川 村 憲 弘
教育総務課長補佐兼総務係長兼学校給食センター副所長	佐々木 由理香

6. 傍聴者

なし

7. 開会

それでは、ただいまから令和元年 10 月八幡平市教育委員会定例会を開催いたします。

8. 教育長あいさつ要旨

9 月定例会後の主な行事等について報告

- 1) 10 月 4 日（金）9 月議会を閉会。
- 2) 10 月 5 日（土）4 つの中学校の文化祭が行われた。駆け足で 4 校回ったが、それぞれ郷土芸能・合唱・学習成果の発表・演劇など生き生きと表現されている姿が印象的であった。
- 3) 10 月 8 日（火）滝沢市ふるさと交流館で第 50 回岩手地区校長会の研究会が行われ、八幡平市の校長先生方も防犯教育という事で、共同研究の途中経過を発表した。来年度は校長会の県大会で発表する予定。
- 4) 10 月 9 日（水）第 7 回校長会議がもたれた。家庭学習の習慣の定着を図るようにと、読書の秋という事で読書活動のいっそうの推進を、とい

う事で各学校の取り組みのお願いをしている。

- 5) 10月11日(金) 県の小中学校事務研究大会が盛岡で行われた。ちなみにこの研究大会の研究集録の表紙が、安比高原のそば畑の広い素晴らしい写真を使っていた。
同日、八幡平市まち・ひと・しごと創生有識者会議がこの場所でもたれた。人口減少の中でどのように八幡平市を、今後活性化していくかという事について意見交換した。教育委員会関係としては、コミュニティースクールを、それに絡めてどのように推進していくのか、あるいは4年後に開校予定のインターナショナルスクールを、活性化とどう繋げていくのかなどというあたりが協議議題にのったところである。
- 6) 10月17日(木) 八幡平市戦没者追悼式に出席。大変厳かに行われた。
- 7) 10月20日(日) 平舘高校の「紫薫祭」が行われ午後参加した。校長先生に伺うと、家政科の子ども達が作った「紫薫枕」50個用意したものが30分で売り切れたという事で、今年も大盛況のようだった。
- 8) 10月23日(水) 岩手地区中学校総合文化祭が盛岡市民文化ホールでもたれた。今年から西根中学校が事務局という事で、西根中それから八幡平市内の中学校の子ども達が、司会進行や接待等々で大変きびきびとした良い動きを見せており、肝心の合唱、吹奏楽の中身でも、大変素晴らしい発表をしてくれた。八幡平市内の中学校も、充実した取り組みがされていると、広くアピールできた文化祭だった。
- 9) 本日教育委員会定例会を開催

11月の主な行事について報告

- ・平舘小学校の学校公開
- ・岩手県特別支援教育研究大会岩手地区大会
- ・柏台小学校の学校公開。
- ・八幡平市市民憲章推進大会
- ・B & G全国教育長会議
- ・教育委員等研修会

9. 報告事項の要旨

(教育総務課)

- ・10月7日の臨時図書館協議会開催の内容についてお知らせする。

教育長、宮野委員さんの出席で「大更顔づくり施設に係る図書館機能について」を協議事項として検討したものである。3階に図書館機能、2階に子育て支援、1階に西根総合支所と物販関係という案で、図書館を移転して、本館として機能させることは可能かどうか。蔵書数、駐車場スペース、学習・研修スペースを確保した本館となった場合、難しいのではということ。それでは、駅前の図書館機能としては、児童書的なものをメイン

に、蔵書すればいいのでは。それプラス、ビジネス支援、学習支援というのをアレンジしたフロアの使い方を、これから子育て支援の方と、どういった部分を連携できるかどうか協議しながら、ゾーニングの案を考えていきたい。また、分館として持っていった場合、運営面での人的配置の部分が課題。どういう形でもっていかかは、これからコンサルが入って、今年来年にかけて設計の方を行っていくという事なので、具体的に想定される子育て支援機能と、連携した形で図書館の機能をどう持っていかという事を、これから議論を重ねていかなければならないという説明をしてきた。

(教育指導課)

- ・文化祭や学習発表会の児童生徒の様子と、学校訪問について報告させていただく。

今月に入り、中学校では文化祭が行われ、小学校では学習発表会が始まっている。中学校の文化祭では、各学校の生徒会活動の集大成として、合唱などのステージ発表のほか、様々なプログラムの発表に、たくさんの来場者から高い評価を頂いている。また、小学校の学習発表会では、先週末6校で開催された。劇や群読、合唱、合奏等ステージ上で、練習の成果を存分に発揮し、保護者や地域の方からたくさん拍手を頂き、子どもたちの満足そうな顔の様子が見られた。

2回目の学校訪問では、各学校の道徳や、英語・外国語活動の授業をしている様子を中心に参加している。今日現在訪問を終えた学校は、小学校は安代小学校、寄木小学校、平笠小学校の3校。どの学校も落ちついて学習に取り組んでおり、特に安代小学校では高学年の子どもたちの姿が、とても立派だったことが印象に残っている。寄木小学校は校長会議との同時開催で、市内の小中学校の校長先生方も参加した。来年度は国語の学校公開を予定しているが、それに向けて国語の授業を公開してくれた。本日午前中に、平笠小学校を訪問してきている。話を聞く子ども達の姿勢が素晴らしかった事、先生方も非常に丁寧に指導していた姿が印象に残った。

中学校では西根一中、松尾中、西根中の3校を訪問した。中学生らしい落ち着きとか、発言の中身のたくましさとかを感じとることが出来た。それぞれの中学校では、道徳の授業等を見させてもらった。道徳では、自らの体験に結び付けたり、深い思いを自分の言葉で書いたり発表したりする様子を見させていただき、さすが中学生だなと感じた。英語の授業は、指示や発問もほとんど英語が使われている。集中して学んでいる一方、理解が難しい子が中にはいるが、先生がフォローしたり、支援員がサポートしたりしている様子が見られた。

長い2学期だが、半分過ぎたところでいよいよ後半に入るところである。小学校、中学校ともに、様々な活動を通して、実りの秋、充実の秋を実感しながら、児童生徒一人ひとりの成長をめざし、日々教育活動に

取り組んでいる。どの学校も様々な取り組みが、より大きな成果に繋がるよう、今後も継続して、指導・支援していきたいと考えている。

9. 報告事項についての質疑

なし

○星教育長

本日は付議する事件がありませんので、4のその他に入りたいと思います。

事務局から何かありますか。

委員の皆さんから、報告に関わって確認あるいは、お聞きになりたい事がありましたならば、どうぞお願いいたします。

○伊藤委員

26日のですね、芸術祭の開幕式で、西根一中さんでまた、避難所設営だったかやる計画聞いていませんか。

○川村指導課長

土曜日ですよね。聞いています。参観日の中で、実際にやる避難所設営の動きを、おうちの方に見てもらおう機会があると言うのを聞いております。

○伊藤委員

素晴らしい。子ども達も役に立つ、3年前から私知っていたんですけども、声かけられて。たまたま20日に平舘高校の校長さんが、一中さんで高校の事もすべて全部取り上げてくれて、本当にありがたいという話を校長さんに言われて来ましたがね。八幡平市から550万も助成してもらって、そういったものもいろんなデータっていうか、資料も一中さんの方で作ってくれて、それを父兄とか地域のみなさんにもわかるように、公開やっていたみたいですね。たぶん声掛かると思いますよ、25日。見ませんかって。いずれ私もパックしたごはん頂いて食べた事もありますけども、被災して、救護所を設営して、子ども達がいろいろな係に分かれて、これ本当に今台風19号あったばかりなんですけども、ああいう事を知っていると本当に、どこの地域においても、中学生であれ、高校生であれ、ものすごい活躍してもらえるから、役に立つなあと、素晴らしい事やっているなあと、3年前から感心していました。全市に広まっていってくれて、どこの中学校でも、小学校でもああいう事、やれるというか、理解できるようであれば、自然災害が発生した時に、本当に頼りになると思います。素晴らしい事やっている。楽しみにしています。

○星教育長

岩手山がもし、噴火した場合には、西根一中学区はですね、市全体で避

難地区っていうか、避難場所にもなるという事で。まず、真っ先に西根一中さんに先頭きって、取り組んで頂いていますけどもね。

○伊藤委員

西中も避難場所にもなっています。家の方は西中の方に避難するようになっています。子どもからお年寄りまでちゃんと面倒見て、けがした人からいろいろな人たちの世話をする、それやっていますので。

○星教育長

そうでしたね。

○伊藤委員

台風の被害みたとき、子ども達がああいう活躍してれば、避難所でもいろんな活躍してくれるから。素晴らしい事やっていますね。

○星教育長

彼らが大人になったときにも、生かしてくれるような中身ですよ。

はい、ありがとうございます。

正式な案内はこれからなのかな、もう来ているの、西根一中の分は。

○川村指導課長

明日の事なので、あついや、明後日ですか。まあそういう事やるって言う情報は来ているっていう感じです。

○伊藤委員

一中学区だけでしょ。たぶんそういう案内したり、お知らせするのは。

○川村指導課長

あのう、こういう事やるのがそもそも一中学区。

○伊藤委員

寺田と平館小学校もたぶん一緒でしょ今回。

○川村指導課長

あのう、まあ取り組みとして防災教育は一中学区で、平館高校とも関わり持ちながらですね、やっていたので。

○伊藤委員

平館高校の校長先生感謝していました。ありがたいことだと。

○星教育長

はい、いろいろ重なっている26日ではありますが、状況見て可能であれば西根一中の様子も見て来たいと思います。

そのほかよろしいでしょうか。はい、どうぞ。

○高橋委員

はい。音楽祭の時の服装について、ちょっと思ったんですけど。統一感出すために、上は白、下は黒っていうふうに行っている小学校が何校かあったんですけど、もしかして、女の子は下スカートって言われているのかなって思う小学校があって、結構中学校に上がる時に、スカート嫌だなんて言う女の子結構周りにいて、今新しく中学校作るころ割と、ズボンとスカート選べるようになってきている所あるんで、小学校の時にもスカート

穿いてきてって言われていたら、黒いスカートねって言われていたら、ちょっと嫌だなって思っている子もいるかなって思って。黒だったらいいかみたいなの。ちょっと見ていました。好きで穿いているなら良いんですけど。スカートが多い小学校が多いなって思ったんで。決められていたら、ちょっと嫌だなと思いつつながら穿いている子がいたら可哀想だなと。ちょっと思いました。

○星教育長

なるほど。今そういうの様々ですからね。

○伊藤委員

この間の10日の音楽発表会で感じたことは、去年までは東日本大震災の被災っていうか、命を大事にしましょう、尊いものだよっていう、そういう関連した歌。仲間を大事にしよう、命が一番大事だよ、大切だよという歌が多かったんですけども、今年度のプログラム見たら、だいたい8年経過して安定してきたせいなのか、やっぱり昔に戻ったというか、絆とか、友情とか仲間大切だねっていうもの。命に係わるっていう歌は一曲もなかったですからね。やっぱり、復興もある程度年数が経って進んできて、落ち着いてきたせいもあって、曲目にも若干変化が出てきたのかなと思って聞いていました。

○星教育長

高橋委員さんからご指摘のあった、スカートについては、強要という事ではないと思っていますけれども、各学校に確認してみたいと思いますので。この時代ですので、必ずこれでなければだめだよって言い方は、もう出来ない時代になっていますのでね。

そのほかよろしいでしょうか。

それでは、特にないようですので、これを持ちまして八幡平市教育委員会定例会の部分は閉じさせていただきます。ありがとうございました。